

NPO法人サウンドウツズ

サウンドウツズは平成21年の設立から、木づかいで森を育てる仕掛けづくりと、森と街をつなぐ木材コーディネーターの人材育成に取り組んでいるNPO法人です。
 「sound=健全な、wood(s)=森づくり」の活動を通して、「森を身近に感じる」暮らしの実現を目指しています。

森と街をつなぐ取り組みを通して、豊かな森林を次世代に引き継ぐ

NPO法人サウンドウツズの前身は、平成15年から兵庫県加古川流域で人工林の保全と地域材活用の推進活動を行ってきた加古川流域森林資源活用検討協議会です。

平成21年、それまでの活動実績を基に、森林所有者に対する森林資源活用提案や立木直接販売システムの運営管理、地球温暖化防止など環境問題の啓蒙・啓発活動を目的とした団体として法人化。兵庫県と京都府にまたがる中山間地「丹波」を拠点に、元気な森づくりをテーマに、木材コーディネーターの養成、市民が五感を通じて森林を知るためのチャレンジコースの実施、地域材利用の推進を目指したコンサルティング業務の3つの取組を通して、森林と街をつなぐ活動を展開しています。

森林と街をつなぐ木材コーディネーターの養成

サウンドウツズが行う取組の一つが、木材コーディネーター養成基礎講座「森活熟^{もりかつじやく}」の運営です。木材コーディネーターとは、木材の流通を見直し、木を活かした質の高い暮らしを提案することで、地域材に新たな需要を生み出し、美しい森林づくりへとつなげていく森林と木のプロフェッショナル。養成講座では、森林づくりと木材の調達や品質管理、流通等について学ぶ基礎知識習得の座学・演習、街に住む潜在的な木のユーザーのニーズを探るためのマーケティングリサーチ実習、企画提案のためのプレゼンテーション手法を月1回、6か月かけて学ぶことができます。

平成22年度から昨年度までに延べ42人が養成基礎講座を修了し、森林から街までの様々な環境で木材の利用に関わる活動を行っています。



丹波の森歩き&森の味覚バスツアー (チャレンジコース・平成25年11月30日)



立木の測定(木材コーディネーター養成基礎講座・平成25年11月3日)

NPO法人 サウンドウッズ

●活動内容

- ①木材コーディネーター養成基礎講座
- ②チャレンジコース開催
- ③コンサルティング業務
- 会員数 35人
- 活動フィールド 兵庫、大阪等
- 活動日
座学講座(大阪市内 月1回程度)
実習講座(兵庫県丹波市内)2か月に1回程度
- ホームページ
<http://www.soundwoods.net/>
- facebook
<https://www.facebook.com/nposoundwoods>



里山薪割焚火塾
(チャレンジコース・平成25年12月14日)



地域材で内装木質化した小学校
(平成25年度木材調達コーディネーター業務・
兵庫県香美町立村岡小学校)



原木選びの演習講座
(木材コーディネーター養成基礎講座・
平成25年12月15日)



森を食べる・秋丹波コレクション
(チャレンジコース・平成25年11月2日)



マーケティング実習
(木材コーディネーター養成基礎講座・
平成25年11月2日)

木材コーディネーターの普及を目指して

今後の活動目標として、都道府県などが取り組む人材育成事業での木材コーディネーターカスタマイズ講座の実施や、京都府立林業大学校での木材コーディネーター学講座の実施等を通して、さらなる木材コーディネーターの普及を図っていきたく考えています。

また、9月頃から平成26年度木材コーディネーター養成基礎講座を開始する予定です。
※平成26年度の木材コーディネーター養成基礎講座の募集開始は、7月を予定しています。

地域材利用の推進を目指したコンサルティング業務

地方自治体、民間企業、森林所有者、建築主を対象に、地域材活用の事業化を支援するコンサルティング業務を行っています。

特に平成22年に施行された「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」によって、地域材活用の事業化が見込まれる地方公共団体に対しては、次のようなサポートを行っています。

- ①木造木質化の企画予算化のサポート 木造・木質化の発案、庁内調整、企画・立案・予算化 など
- ②地域材の木材調達のサポート 森林調査、建築企画、木材調達 など
- ③施設整備成果活用のサポート 木材利用と森林整備に関する市民への普及・啓発、一般建築物や木製品への地域材利用の促進、事業成果の情報発信 など

昨年度は、木造公共建築物整備のための技術支援(愛知県新城市)と、公共木造施設建設木材の調達調査監理業務及びバイオマス活用推進基本計画業務(兵庫県香美町)のコンサルティング業務を行いました。

森を体験！チャレンジコース

森を身近に感じていただけるツアー、「チャレンジコース」を、兵庫県丹波市をフィールドに年3回開催しています。

「森を食べる・秋丹波コレクション」は、秋の森で木のこや木の実等の山の幸の採り方を学び、食べて、楽しく過ごしながら山や森林を身近に感じて貰うことを目的としたイベントです。

「丹波の森歩き・森の味覚バスツアー」は、ガイドとともに森林を歩き、里山の自然と暮らしを学び、森に育まれた食材を楽しむツアーです。

「里山薪割焚火塾」は、薪割りと焚火、ロケットストーブの製作、薪や炭を使った調理体験を通して里山の循環資源を考えるワークショップです。

昨年度開催されたチャレンジコースには、延べ80人が参加し、丹波の森林の魅力を満喫しました。